

作業番号	資料ID	資料分類	資料名	資料作者1	年月日	発行元	数量	(単位)	内容
MK1-01	118807	原稿	原稿「トンカジョンの旅立ち」①【第一章～第七章】	森崎和江			1	式	『トンカジョンの旅立ち—北原白秋の少年時代』(日本放送出版会、1988.11)の自筆原稿。①第一章から第七章(42枚目～327枚目)まで一式。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(用紙下に「20×10 1984・4 80」とあり)、万年筆(インク青)の手書き。
MK1-02	118808	原稿	原稿「トンカジョンの旅立ち」②【第八章～第二十三章】	森崎和江			1	式	『トンカジョンの旅立ち—北原白秋の少年時代』(日本放送出版会、1988.11)の自筆原稿。②第八章から第二十三章(328枚目～1015枚目)まで一式。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(用紙下に「20×10 1984・4 80」とあり)、万年筆(インク青※514枚目2行目を降ブルーブラック)の手書き。
MK1-03	118809	原稿	原稿「こだまひびく山河の中へ」	森崎和江			1	式	『こだまひびく山河の中へ—韓国紀行八五年春』(朝日新聞社、1986.7)の自筆原稿。1枚目～857枚目まで一式。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(用紙下に「20×10 1984・4 80」とあり)、万年筆(インク青)の手書き。
MK1-04	118967	原稿	原稿「ナヨロの海へ—船乗り弥平物語—」	森崎和江			1	式	『ナヨロの海へ—船乗り弥平物語』(集英社、1988.5)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(用紙下に「20×10 1984・4 80」とあり)、万年筆(インク青)の手書き。出版社校正、赤ペン書き入れ。 —「ポロナイ川」(95枚、タイトル・目次+ノンブル001～082)、二「シスカ漁場絵図」(79枚、ノンブル083～161)、三「ナヨロの海」(93枚、ノンブル162～254)、四「函館妻」(72枚、ノンブル255～326)、五「禁漁」(79枚、ノンブル327～395)、六「葬列」(65枚、ノンブル396～460)、七「椿」(71枚、ノンブル461～531)、八「初産」(101枚、ノンブル532～602)、九「村」(69枚、ノンブル603～671)、十「黒塗の駕籠」(66枚、ノンブル672～737)、十一「エトロフ島」(59枚、ノンブル738～796)、十二「海」(65枚、ノンブル797～861)まで一式。
MK1-05	118968	原稿	原稿「いのちの素顔」	森崎和江			1	式	『いのちの素顔』(岩波書店、1994.9)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(用紙下に「1990.3.100」とあり)、鉛筆手書き。当時の編集者よりの原稿返却の書簡あり。 第一章「共に生きる」(No.1～96)、第二章「いのちの原郷」(No.97～170)、第三章「生の不安」(No.171～254)、第四章「意識のすきま」(No.255～326)、第五章「非日常的しぐさ」(No.327～391)、第六章「原初のエロス」(No.392～446)、第七章(No.447～521)まで一式。
MK1-06	118969	原稿	原稿「奈落の神々」①【はじめに～第一部】	森崎和江			1	式	『奈落の神々—炭坑労働精神史』(大和書房、1974.4)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、大和書房用箋、万年筆(黒)手書き。 目次(4枚)、はじめに(47枚)、第一部・労働【第一章 やまの人びと—坑夫聞き書き(132枚)、第二章 もえる石—草創期(168枚)、第三章 掘子—藩制末期(196枚)】まで一式。
MK1-07	118970	原稿	原稿「奈落の神々」②【第二部～あとがき】	森崎和江			1	式	『奈落の神々—炭坑労働精神史』(大和書房、1974.4)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、大和書房用箋、万年筆(黒)手書き。 第二部・創造【第一章 やまの神—明治期(340枚)、第二章 鎮魂—大正期(273枚)、第三章 頼母子—昭和初期(150枚)】、あとがき(9枚)、不明分(15枚)まで一式。
MK1-08	118973	原稿	原稿「荒野の郷—民権家・岡田孤鹿と二人妻」①【序章～第六章】	森崎和江			1	式	『荒野の郷—民権家岡田孤鹿と二人妻』(朝日新聞社、1992.5)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方右に、1990.3.100、とあり)、万年筆(青)手書き。 【序章(10枚)、第一章 燃える城(49枚)、第二章 開眼(89枚)、第三章 帰郷(58枚)、第四章 わが九州(107枚)、第五章 国防鉄道(79枚)、第六章 老妻(84枚)】まで一式。
MK1-09	118974	原稿	原稿「荒野の郷—民権家・岡田孤鹿と二人妻」②【第七章～終章】	森崎和江			1	式	『荒野の郷—民権家岡田孤鹿と二人妻』(朝日新聞社、1992.5)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方右に、1990.3.100、とあり)、万年筆(青)手書き。 【第七章 亀裂(72枚)、第八章 流血の選挙(47枚)、第九章 少数派●(118枚)、第十章 オイカルマイ(79枚)、終章 タンポポの花(22枚)】まで一式。
MK1-10	118975	原稿	原稿「大人の童話・死の話」	森崎和江			1	式	『大人の童話・死の話』(弘文堂、1989.1)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、弘文堂原稿用紙(縦横併用)。下方右に、62.3 50×320(昭)、とあり。万年筆(青)手書き。表紙+ノンブル1～528。
MK1-11	118976	原稿	原稿「悲しすぎて笑う—女座長筑紫美主子の半生」	森崎和江			1	式	『悲しすぎて笑う—女座長筑紫美主子の半生』(文芸春秋、1985.6)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、八一・一〇 八〇、とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。 【序章(ノンブル1-44)、第一章(45-95)、第二章(96-158)、第三章(159-224)、第四章(225-298)、第五章(299-370)、第六章(371-438)、第七章(439-503)、第八章(504-574)、第九章(575-651)、第十章(652-707)、第十一章(708-770)、第十二章(771-852)、あとがき(853-869)、筑紫美主子略歴(870-884)、著者略歴(887)まで一式。※885-886抜け
MK1-12	118983	原稿	原稿「慶州は母の呼び声」	森崎和江			1	式	『慶州は母の呼び声』(新潮社、1984.3)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、新潮社原稿用紙(1982.6、1983.8が混ざっている)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。 【序章(ノンブル3-14)、一章 天の川(15-169)、二章 しょうぶの葉(170-265)、三章 王陵(266-423)、四章 魂の火(424-563)、余章(564-620)までの一式。
MK1-13	118987	原稿	原稿「うぶめ飛ぶ頃」	森崎和江			1	式	「辺境」4(1987.7、記録社)掲載の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1984・4 80、とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。 ノンブル422-710までの一式。
MK1-14	118989	原稿	原稿「長男の嫁」—～四【連載「初手の女」】	森崎和江			1	式	連載「初手の女」1～4(「思想の科学」1987.1～4)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1984・4 80、とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。 【一(ノンブル1-51)、二(38-88)、三(42-93)、四(1-51)】までの一式。

MK1-15	118988	原稿	原稿「鐘崎の海女」一～四【連載「初手の女」】	森崎和江		1	式	連載「初手の女」5～8(「思想の科学」1987.6～9)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1984・4 80、とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。【一(ノンブル001-041)、二(1-41)、三(22-62)、四(1-41)】までの一式。
MK1-16	118990	原稿	原稿「花火師・紅一点」一～四【連載「初手の女」】	森崎和江		1	式	連載「初手の女」9～12(「思想の科学」1987.10～1988.1)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1984・4 80、とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。【一(ノンブル1-48)、二(1-48)、三(001-044)、四(1-37)】までの一式。
MK1-17	118991	原稿	原稿「水脈ひく船の軌跡」	森崎和江		1	式	「波」(1987.3、新潮社)掲載の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1984・4 80、とあり)、万年筆(青)手書き。タイトル1枚、本文10枚。
MK1-18	119100	原稿	原稿「潮といのちの物語」	森崎和江	1987	1	式	MK3-01:資料「海といのちの物語」に同封。RKB木村栄文より返送されたものか。JNN九州6局ネット「窓をあけて九州・二十周年記念企画」として放送された番組の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1984・4 80、とあり)、万年筆(青、色褪せ)手書き。タイトル1枚、本文26枚。
MK1-19	119189	原稿	原稿「ベケットの詩魂」	森崎和江	1989/10	1	式	「すばる」11巻10号(1989年10月号)の、「世界文学・私のこの一冊」への寄稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(下方左に、1987.11 100、とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正赤ペン入れあり。表紙+本文6枚の一式。
MK1-20	119190	原稿	原稿「買春王国の女たち—娼婦と産婦による近代史—」	森崎和江		1	式	『買春王国の女たち—娼婦と産婦による近代史—』(宝島社、1993.9)の自筆原稿。B5版(20字×10行)、コクヨ原稿用紙、鉛筆手書き。出版社校正、赤ペン書き入れ。「はじめに」+タイトル(14枚、ノンブル01-14)、一章「風習とともに」(83枚、ノンブル15-97)、二章「家制度の確立へ」(106枚、ノンブル98-203)、三章「浮かぶ瀬もなし」(94枚、ノンブル204-297)、四章「売春王国の中で」(198枚、ノンブル298-495)、五章(39枚、ノンブル496-534)、六章「敗戦」(138枚、ノンブル535-672)、七章「娼楼の灯を消す」(90枚、ノンブル673-762)、「おわりに」(23枚、ノンブル763-785)まで一式。
MK1-21	119191	原稿	原稿「舞台の灯 石川淳文学のたのしさ」	森崎和江		1	式	「すばる 増刊号」(1988.4)掲載の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(左下に1984・4 80 とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正、赤鉛筆書き入れ。表紙+32枚の一式。
MK1-22	119192	原稿	原稿『お告げのマリア』解説	森崎和江		1	式	小坂井澄『お告げのマリア』(集英社 1980.5/のち集英社文庫 1985.11)解説の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(左下に1984・4 80 とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正なし。表紙(タイトル)+22枚の一式。
MK1-23	119193	原稿	原稿「先人はいなくとも、今は—若者とインドといのち」	森崎和江		1	式	第三次「辺境」第1号(1986年10月・秋号)掲載の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(左下に1984・4 80 とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正、赤字ペン書き。表紙(タイトル)+63枚の一式。
MK1-24	119194	原稿	原稿「原生林に降る雨」(開高健原作、ラジオ脚本)	森崎和江	1986	1	式	原作:開高健、脚色:森崎和江。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(左下に1984・4 80 とあり)、万年筆(青)手書き。114枚。放送:1986(昭和61)年4月12日(土)午後10時～11時、NHK東京のFMシアター。
MK1-25	119196	原稿	原稿「愛しき者へ」(中野重治原作、ラジオ脚本)	森崎和江	1984	1	式	ラジオ脚本の自筆原稿。B4版(20字×20行)原稿用紙(どこの用紙か不明)、万年筆(青)手書き。67枚。別紙にて補足原稿、B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(左下に、1984・4 80 とあり)、18枚。原作:中野重治、脚色:森崎和江。放送の正式タイトルは「愛しき者へ 中野重治書簡集」。放送:1984(昭和59)年12月29日(土)午後10時45分～(75分)、NHK東京のFMドラマスペシャル。
MK1-26	119206	原稿	原稿「一度みた学校」	森崎和江	1984	1	式	「すばる」6巻9号(1984.9)掲載随筆の自筆原稿。B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙(左下に、八〇〇〇 八〇 とあり)、万年筆(青)手書き。出版社校正、赤ペン書き入れ。表紙+12枚の一式。
MK1-27	119212	原稿	原稿「犬ころの食器」	森崎和江	1985	1	式	「新潮45」(1985.2)掲載随筆の自筆原稿。B4版(20字×20行)、森崎和江用原稿用紙(種類不明)、万年筆(青)手書き。出版社校正、赤鉛筆書き入れ。4枚の一式。
MK1-28	119213	原稿	原稿「森のフシギの物語」(大江健三郎原作、ラジオ脚本)	森崎和江	1988	1	式	ラジオ脚本の自筆原稿。B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙(左下に、1984・4 80 とあり)、万年筆(青)手書き。タイトル+本文85枚。原作:大江健三郎「M/Tと森のフシギの物語」、脚色:森崎和江。放送:1988(昭和63)年1月16日(土)、午後10時～11時、NHK東京FM。※NHK封筒入り
MK1-29	119221	原稿	原稿「菊竹六鼓との出会い」	森崎和江		1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。10枚。※掲載誌不明
MK1-30	119222	原稿	原稿「音のない光が響く」	森崎和江	1999	1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+10枚。手書き送付状1枚。『松下竜一 その仕事/第八巻「母よ、生きるべし」』(河出書房新社、1999.6)のゲストエッセイとして収録。
MK1-31	119223	原稿	原稿「いのちへの挨拶」	森崎和江	1999	1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+9枚。手書き送付状1枚。「公明新聞」(1999.7.18)掲載。
MK1-32	119224	原稿	原稿「潮の時間、学校の時間」	森崎和江	1999	1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+8枚。『エコビレッジ歳時記』(美麻エコビレッジプロジェクト、1999.10)掲載。

森崎和江資料リスト

MK1-33	119225	原稿	原稿「桜の姿」	森崎和江	2000		1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+10枚。別途手書き送付状あり。「別冊 山と溪谷 日本列島桜紀行」(2000.3)掲載。
MK1-34	119226	原稿	原稿「未来のあなたを愛したい」	森崎和江	1999		1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+13枚。別途手書き送付状あり。「思想」(1999.4)、特集「ジェンダーの歴史学」に掲載。
MK1-35	119227	原稿	原稿「見知らぬわたし」	森崎和江			1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。8枚。別途手書き送付状あり。「女性の安全と健康のための支援教育センター通信」3号(2001)に掲載か?(●未確認)
MK1-36	119228	原稿	原稿「アジアの三詩人の魂が響く」	森崎和江			1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+8枚。丸山豊、穆旦【ムーダン、中国の詩人】、尹東柱【ユンドンチュ、韓国の詩人】について書かれる。 ※掲載誌不明。
MK1-37	119229	原稿	原稿「書評『ユーラシアの秋』」	森崎和江			1	式	B5版(20字×10行)森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+4枚。別途手書き送付状あり。佐々木良江『ユーラシアの秋』(集英社、1998.5)の書評。※掲載誌不明。
MK1-38	119230	原稿	原稿(無題)「人のもんは我がもん…」	森崎和江			1	式	B5版(20字×10行)原稿用紙。※B4版を半分に切って使用。鉛筆手書き。5枚。 1枚目:「人のもんは我がもん、我がもんは人のもんバイ」/「男もおなごもケツの巢は一つバイ、生きるための理屈は一つ」/森崎和江『まっくら-女坑夫からの聞き書き』。 ※掲載誌不明。
MK1-39	119231	原稿	原稿「草の根の交流を明日へ」	森崎和江	2008		1	式	B5版(20字×10行)、森崎和江用原稿用紙。鉛筆手書き。6枚。 「潮」(2008年8月号)の<随筆・波音>に掲載。※<随筆 なみおと>か?
MK1-40	119232	原稿	原稿「いのちの自然① 花ふぶき」	森崎和江			1	式	A4版(20字×20行)原稿用紙。鉛筆手書き。5枚。別途手書き送付状あり(連載のテーマを「いのちの自然」とすることが書かれている)。 「やま かわ うみ」2012年夏、vol.5(2012.6、夏号)に掲載。
MK1-41	119241	原稿	原稿「みどり児への涙」	森崎和江	2014		1	式	A4版(20字×20行)原稿用紙。ボールペン手書き。4枚。別途手書き送付状あり。 「やま かわ うみ」vol.9(2014.5)掲載の、「いのちの自然⑤ 孫達との暮らし」か(改題?)。 ※現物未確認●
MK1-42	119242	原稿	原稿「明日へと生きる」	森崎和江	2009		1	式	A4版(20字×20行)、KYOKUTO原稿用紙。ボールペン手書き。18枚(3枚目~20枚目。1、2枚目なし)。 「環」38号(藤原書店、2009.7)ノ小特集「森崎和江」を読む--『森崎和江コレクション・精神史の旅』完結を記念して。
MK1-43	119243	原稿	原稿「視線の彼方に」	森崎和江	2014		1	式	A4版(20字×20行)原稿用紙。ボールペン、鉛筆手書き。一式で保管あり、26枚。 「視線の彼方に」と題した連載か。掲載誌不明。 内訳:「友人の交通事故」(五月号)2枚、「高齢期の体調」(七月号/2014年5月27日Fax済)2枚、「ライズケアセンターで」(十月号)2枚、「なつかしい友」(十一月号/2014.9.25Fax済)2枚、「韓国の友人」(二月号)2枚、「初めての車椅子」(十月号)2枚、「拝受した米 穂の舞」(六月号/2014.4.26Fax済)2枚、「テレビの仲間」(七月号)2枚、「韓国慶州からの便り」(三月号)2枚、「戦場から帰った詩人」(十一月号)2枚、「韓国の孫世代の女性と共に」(一月号)2枚、「異国の友」2枚、不明分2枚。
MK1-44	119244	原稿	原稿コピー「セクシュアリティの歴史」	森崎和江			1	式	B5版(20字×10行原稿用紙)手書き原稿のコピー。前半部分のみ、106枚。 『女と男の時空【日本女性史再考5】 闘ぎ合う女と男(近代)』(藤原書店、1995)に掲載されたもの。
MK1-45	119245	原稿	原稿「これで、おしまい」(原作 マルグリット・デュラス)	森崎和江			1	式	ラジオドラマの脚本原稿。2部あり。B5版(20字×10行原稿用紙)、森崎和江用原稿用紙、鉛筆手書き。 一部は、すべて手書きでタイトル+89枚(計90枚)、もう一部は、タイトル~76枚目、元82枚目~86枚目(78枚目~82枚目に変更)がコピー、新77枚目、新83枚目~86枚目は手書き。計87枚。 ほか、NHK齋明寺以玖子からの手紙(2枚)同封。
MK1-46	119246	原稿	原稿「雪の夜の MARIA 観音」(ラジオ脚本)	森崎和江			1	式	ラジオドラマの脚本原稿。B4版(20字×20行)、LiFE原稿用紙、鉛筆手書き。 表紙(タイトル)+43枚。放送日等詳細不明。
MK1-47	119247	原稿	原稿「晩夏の朝…」※タイトル不明(ラジオ脚本)	森崎和江			1	式	ラジオドラマの脚本原稿。A4版(20字×20行)、アピカ原稿用紙、鉛筆手書き(うちコピーもあり)。56枚。放送日等詳細不明。
MK1-48	119248	原稿	原稿「祈り」(ラジオ脚本)	森崎和江			1	式	ラジオドラマの脚本原稿。A4版(20字×20行)、アピカ原稿用紙、鉛筆手書き。表紙(タイトル)+39枚。放送日等詳細不明。
MK2-01	118810	自筆資料	ノート<雑「奈落の神々」1~9>	森崎和江			9		『奈落の神々-炭坑労働精神史』(大和書房、1974.4)の取材ノート。①~⑨まで9冊。 B5版ノート。万年筆、鉛筆などの手書き。
MK2-02	118811	自筆資料	ノート<合本「津軽・松前」>	森崎和江			1		取材ノート「津軽へ 53年9月」、「松前・江差」、「津軽メモ②」の3冊を合本にしたもの。 B5版ノート。万年筆手書き。
MK2-03	118812	自筆資料	ノート<歴史を問う アジア学の展開のために>	森崎和江			1		B5版ノート。ボールペン手書き。 表紙に、竹内好、中島岳志、「母音」、「サークル村」と記載。 ①中島岳志『インドの時代-豊かさや苦悩の幕開け』、②竹内好編『アジア学の展開のために』、③中島岳志『パール判事-東京裁判批判と絶対平和主義』、④同『中島岳志のアジア対談』の概要メモ。 ⑤「母音」発行から終刊まで時系列メモ。⑥「サークル村」創刊号~20号までの目次、一部抜き書きなど。

MK2-04	118814	自筆資料	手帳<訪韓メモ>	森崎和江	1985	1	1985年・NHKの手帳(133×85mm)。「訪韓メモ」と記載。万年筆手書き。最初のほうのページに「2/26-3/15韓国取材 蔡京希さんの春休みに同行した」「8/13-8/16 松石泉と訪韓 成嘯慶君、蔡京希さんと大邱で●合」と書かれる。ほか、スケジュール、人名録(ソウル市内で42年ぶりに再会した金泉中学クラスメートか)など。 ※蔡京希(チェギョンヒ):九州大学文学部留学生。1984年に出会い、植民地当時の金泉高女の後輩であることが分かった(参考『精神史の旅』第5巻所収の自撰年譜)。 ※成嘯慶(ソンヒキョン):「慶州大学校外国語学部日語科助教授を経て博士受得」(MK2-05 手帳<韓国の友人メモ>より)
MK2-05	118816	自筆資料	手帳<韓国の友人メモ>	森崎和江	2002	1	2002年、弘文堂の手帳(178×92mm)ノート。表紙に「韓国の友人メモ」と記載。ボールペン手書き。
MK2-06	118815	自筆資料	ノート<韓国ノート I >	森崎和江	1968	1	B5版ノート。表紙に「韓国ノート I」、「訪韓/1968.4.19-5.4/慶州中学30周年記念に父の代理に招待される」と記載。ボールペン手書き。行程等メモ、住所録。
MK2-07	118817	自筆資料	ノート<朝鮮・日本関係>	森崎和江		1	B5版ノート。表紙に「朝鮮・日本関係」と記載。万年筆手書き。1867年～1951年までの朝鮮と日本の歴史を年譜形式で記載。ほか、「アジアに於ける植民地」の列記。
MK2-08	118818	自筆資料	ノート<北上メモ>	森崎和江		6	B5版ノート。全6冊。ボールペン手書き。表紙記載内容は以下のとおり。 1:2000.1～。メモ①海から山へ/「潮の時間」 2:2000.1～。メモ②山そして樹 3:2000.1～。メモ③家族 民族 縄文 4:2000.1～。メモ④伝承 5:2000.1～。メモ⑤年代照合 6:’98.10.27～’99.12末。メモ②山そして樹 メモ①海から山へ「北上幻想」以前。
MK2-09	118819	自筆資料	ノート<「北上幻想」メモ① 旅>	森崎和江	2000/04～	1	B5版ノート。ボールペン、鉛筆手書き。 表紙:いのちの原郷 そのひびき/「北上幻想」メモ①旅/2000.4～ 『北上幻想—いのちの母国をさがす旅』(岩波書店、2001.2)の取材ノート。
MK2-10	118820	自筆資料	ノート<東北メモ③>	森崎和江	1995～1996	1	B5版ノート。ボールペン、万年筆手書き。 表紙:東北メモ ③/’95～ 1995年10月31日～11月5日の日記形式のメモ。1996年4月16日～22日、東北へ取材時のメモ。1996年5月4日～5日、上津江村へ。1996年10月15日、鹿角市(※秋田県)。ほか、詩なども書かれる。
MK2-11	118821	自筆資料	ノート<雲南行メモ>	森崎和江		2	※自撰年譜によると雲南行は1996年になっているため確認が必要※ B5版ノート。全2冊。ボールペン手書き。表紙記載内容は以下のとおり。 1:’97.7.24-8.1 雲南行メモ(1) 2:’97.7.24-8.1 雲南行メモ(2) RKBテレビドキュメント「月白の道—戦場から帰った詩人」の構成、出演、ナレーションを担当するため、丸山豊の足跡を追って雲南省からビルマ(ミャンマー)をまわり撮影。
MK2-12	118822	自筆資料	ノート<産むノート>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン、万年筆手書き。 「産む」ことに関し医学、法学、宗教、民俗学、倫理学等様々な方面からアプローチしたメモ。人工授精、胎児、母子、生命倫理などについて。読書記録、メモ多数。
MK2-13	118823	自筆資料	ノート<訪韓ノート 1985年>	森崎和江	1985.2～3	2	B5版ノート。万年筆手書き。 ・訪韓ノート① ’85.2.26～3.6 蔡京希さんと/「こだまひびく山河の中へ」資料 ・訪韓ノート② ’85.3.7～3.15/「こだまひびく山河の中へ」資料
MK2-14	118824	自筆資料	ノート<訪韓メモ 1>	森崎和江	1985	1	B5版ノート。万年筆手書き。 表紙:訪韓メモ1/1985.1/1985.8.13-8.16 泉と訪韓
MK2-15	118825	自筆資料	ノート<訪韓ノート 2001年>	森崎和江	2001	3	B5版ノート。ボールペン手書き。 1:訪韓ノート 2001年度①/2001.9.17-9.21、「韓国文化」連載用 2:訪韓ノート 2001年度②/2001.10.9-10.12、世界陶磁器エキスポへの旅/甕器釜【オンギヨ】を中心に 3:訪韓ノート 「韓国文化」取材関係/華嚴寺【ファオムサ】を中心に/円空和尚再訪問 ※2002.4～2003.3まで「いのち響きあう世紀へ」を連載した。
MK2-16	118826	自筆資料	ノート<月刊「韓国文化」用 取材メモ>	森崎和江	2002	1	B5版ノート。ボールペン手書き。 表紙:2002年3月26、27、28 智異山華嚴寺。津垣さんと。/2002年9月16、17、18 くすの木園職員と愛光園
MK2-17	118827	自筆資料	ノート<国立金海博物館オープンレセプション>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン手書き。 表紙:国立金海博物館オープンレセプション ’98.7.28～30/TNC韓国ロケ 2000.10.10～10.18 金海市と宗像市は1992年4月22日に姉妹都市締結。 TNC「こだまひびく山河の中へ」のロケ。韓国培花【ペファ】女子大学日本通訳科教授・蔡京希と共演。ソウル、愛光園を巡る。
MK2-18	118828	自筆資料	ノート<いのちへの旅—宗像・韓国・沖縄—メモ>	森崎和江		1	B5版ノート。鉛筆手書き。 表紙:いのちへの旅—宗像・韓国・沖縄—メモ 『いのちへの旅—韓国・沖縄・宗像』(岩波書店、2004.1)のためのメモ。
MK2-19	118829	自筆資料	ノート<瀬戸内海を渡る>	森崎和江	1998	1	B5版ノート。ボールペン手書き。 表紙:’98年2月 瀬戸内海を渡る(総社市「山と溪谷社」)/’98年4月 瀬戸内海を渡る(四万十川へ大邱高女同級会)

森崎和江資料リスト

MK2-20	118830	自筆資料	ノート<日本のアジア史ノート>	森崎和江		3	B5版ノート。ボールペン手書き。年譜。 1:日本のアジア史ノート① 1853(嘉永6)-1908(明治41) 2:日本のアジア史ノート② 1909(明治42)-1938(昭和13) 3:日本のアジア史ノート③ 1939(昭和14)-1952(昭和27)
MK2-21	118831	自筆資料	ノート<丸山豊「月白の道」>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン手書き。 丸山豊『月白の道』(1969年夏に「西日本新聞」に連載され翌1970年●月、創元社より刊行。)の抜き書き。丸山からの手紙の内容、ほか1950年9月に森崎が「母音」同人となってからの丸山のかかわり、テレビやラジオでの共演などを時系列でまとめている。
MK2-22	118832	自筆資料	ノート<吉本隆明>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン手書き。 『吉本隆明全著作集』(全15巻、勁草書房、1968.10~1975.12)の概要や抜き書き。
MK2-23	118833	自筆資料	ノート<韓国ノート>	森崎和江		2	B5版ノート。万年筆手書き。2冊。 表紙:1 韓国ノート(1)、2 韓国ノート(2)ノ前半 1972年(昭和47年前後)大坂金太郎先生聞き書きなどノ後半 2002年(平成14年) 朝鮮半島の歴史、文化、民謡や詩などについてまとめたもの。
MK2-24	118834	自筆資料	ノート<旧作発見>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆、鉛筆手書き。 同人誌等に掲載された自身の作品(主に短歌、ほか詩)を抜き書き、またはコピー貼り付けしたもの。掲載誌として「筑紫野」「母音」「詩学」「九州アララギ」など。
MK2-25	118835	自筆資料	ノート<仏教>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン手書き。 3頁のみの使用。河合隼雄、中沢新一『仏教が好き!』の抜き書き。
MK2-26	118836	自筆資料	ノート<与論島メモ>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆手書き。 表紙:与論島メモ 55(1980)8.1-8.5 片島紀男制作のNHKドキュメント「ルポルタージュにつぼん ユンヌンチェ故郷へ帰る—1980年夏・与論島」へ同行時の日記、聞き取りの書き起こしメモなど。
MK2-27	118837	自筆資料	ノート<沖縄・本土・朝鮮ノートノ「誕生」メモ>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆手書き。 表紙:沖縄・本土・朝鮮ノート(1)ノ<誕生>メモ 前半は、日本と沖縄(琉球王朝)の歴史を年譜形式で並記。後半は「産む」ことについて。民俗学(主に柳田国男)のメモ。
MK2-28	118838	自筆資料	ノート<テレビドキュメント「草の上の舞踊(ママ)」メモ>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆手書き。 表紙:テレビドキュメント 草の上の舞踊(ママ)メモ 1973年(※「舞踏」の間違い) 同番組の構成メモ。プロデューサーはRKBの木村栄文。1978年5月放送、芸術祭優秀賞受賞。内尾薬師に通う在日朝鮮人一世の老婦人たちに密着したドキュメント。のち『草の上の舞踏—日本と朝鮮半島の間に生きて』(藤原書店、2007.8)として単行本刊行あり。
MK2-29	118839	自筆資料	ノート<2011.3.11以後> ※スクラップ	森崎和江		3	B5版ノート。新聞スクラップ。 表紙:1 2011.3.11以後①ノ2 2011.3.11以後②ノ3 2011.3.11以後 再生可能エネルギー 東日本大震災(3.11)以降の原発事故、放射能汚染等に関する新聞記事スクラップ。3冊目は脱原発に関するスクラップ。
MK2-30	118840	自筆資料	ノート<2009年 雑記ノート>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン手書き。 ハンセン病—『俱会—処—患者が綴る全生園の70年』(多摩全生園患者自治会 編、1979.8)ノ河野和子、外口玉子 編『らい看護から』(日本看護協会出版会、1980.5)ノ熊本菊池恵風園 訪韓メモ、日朝関係の克服、ロシア正教メモ、北方少数民族メモ、池見酉次郎【ゆうじろう】心療内科を創立、和田春樹『朝鮮戦争全史』、姜尚中『日朝関係の克服』、若狭・能登メモなど。
MK2-31	118841	自筆資料	ノート<2010年 雑記ノート>	森崎和江		2	B5版ノート。ボールペン手書き。2冊。 ・2010年雑記ノート①:韓国への旅、西南学院大学公開講座、性愛の歴史、女性史について、中島岳志との共著打合せ、家制度と公娼制度、からゆきさん、沖ノ島と関連遺跡群 ユネスコ世界遺産暫定リスト入り、金海市と姉妹都市結●、死と産むこと、いのち 響きあう ・2010年雑記ノート②:歴史のなかの「在日」座談会(上田正昭ノ姜尚中ノ杉原達ノ朴一)(「環」11号、2002.10、藤原書店)、「現代アイヌ文学作品選」、パレスチナ・イスラエル紛争、「環境」、「むなかたの音—響きあう 日韓のこころ」(2011.9.19 ハーモニーホールで)
MK2-32	118842	自筆資料	ノート<学習ノートノ読書ノート>	森崎和江		2	B5版ノート。ボールペン手書き。2冊。 ・学習ノート1 読書ノート1ノ'06.7月-'07.11月 ・学習ノート
MK2-33	118843	自筆資料	ノート<インドの風に吹かれて>	森崎和江	1977.12	1	B5版ノート。ボールペン手書き。 1977.12.6~12.16のインド旅行中の日記。松崎武俊(※)ほかとインドの仏蹟めぐりを行っている(ノート内に同行者名の記載あり)。他、ブッダ、仏教、ヒンズー教、インド哲学などについてのメモ。 ※刑事を辞め、被差別部落研究、部落開放運動に身を投じた。著書に『松崎武俊著作集』『カンテラ』など。
MK2-34	118844	自筆資料	ノート<歴史を問うノインド旅行>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン手書き。 ・『歴史を問う』6 歴史の解体と再生 著者の上村忠男、姜尚中のプロフィール、連絡先。ノ沖ノ島、稲作文化と天皇、葬法などのメモ。 ・ガヤトリ.Cスピヴァック ・インドへの旅 当時の日記より

MK2-35	118845	自筆資料	ノート<ロシア正教 メモ(2)>	森崎和江		1	B5版ノート。鉛筆、万年筆手書き。 表紙:ロシア正教メモ(2)<北からの日本史> 伊藤修『最北の日本へ カムサツカ見聞記』(大正15)、ステン・ベルグマン著・中垣虎児訳『カムチャツカ探検旅行記』(昭和10)、海保洋子『近代北方史—アイヌ民族と女性と』(平成4)、『日本正教伝道誌』巻之巻(明治34)などの読書メモ。
MK2-36	118846	自筆資料	ノート<北方少数民族メモ>	森崎和江		1	B5版ノート。鉛筆、万年筆手書き。 表紙:北方少数民族メモ/2008(平成20)年6月6日。アイヌ民族を先住民族として認め、関連する政策を推進するよう政府に求める国会決議が、6月6日の衆参両院本会議で一致可決。 NHKラジオドラマ「サハリン・シンフォニー」の構成ノート。手書きの絵もあり。 放送日は、青春と海(特集・民族の歌と森の物語①)1991.8.11、海山の祭(特集・民族の歌と森の物語②)1991.8.12。
MK2-37	118847	自筆資料	ノート<沖縄ノート>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン、万年筆手書き。 表紙:沖縄ノート 1977.4.28~5.7沖縄本島、宮古島への旅、1978.2.17~21沖縄本島、石垣島への取材旅行について、当時の日記から記載している。ノート<「里の風 おぼえ」北井一夫さんとの旅1>より一部切り取って、当ノートに貼り合わせあり。他、沖縄現代史の年譜、森崎自身が関わった沖縄関連のテレビ、ラジオ番組のまとめなど。
MK2-38	118848	自筆資料	ノート<古事記メモ①>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン、万年筆手書き。 表紙:古事記メモ① 「古事記」「日本書紀」「風土記」、綿津見・住吉・宗像の三神の出現神話、沖ノ島などについてのメモ。
MK2-39	118849	自筆資料	ノート<読書メモ>	森崎和江		2	B5版ノート。ボールペン、鉛筆手書き。 表紙:1 読書メモ(安部磯雄『次の時代』、網野善彦・川村湊『列島と半島の社会史』、山室信一『キメラ—満州国の肖像』)。朝鮮戦争メモ、雁さんメモ、丸山豊『月白の道』ロケーションメモ。 2 読書メモ 絵本『大王家の棺』/'07.11~
MK2-40	118850	自筆資料	ノート<同朋>	森崎和江		1	B5版ノート。ボールペン、鉛筆手書き。 表紙:同朋(※)/2003年4月号~2004年3月号まで「私の出会い—いのちの声—」原稿ノート。 2004年4月号~2005年3月号まで 引きつづき連載。/2005年4月号~2006年3月号まで 引き続き連載/ '05年11月号以降は<詩稿メモ No4>へ ※東本願寺出版部発行の月刊誌
MK2-41	118851	自筆資料	ノート<私史ノート>	森崎和江		3	B5版ノート。ボールペン、鉛筆手書き。 ・私史ノート:『平等の文化』を創ろう—あしたの女性たちへのメッセージ(2013.2.9、北京JACふくおか 第14回総会、福岡市人権啓発センター 博多マリバレイン10F)の講演のためのメモ。ほか、山本作兵衛との出会いと交流について覚書。 ・私史ノート:誕生からの詳細な年譜。/東南アジア学会九州地区例会 2011.5.9(月)国民宿舎ひびきで。読者からの手紙/久留米大学御井図書館「丸山豊先生のこと 久留米のこと 新作のことなど」(2011.10.16)/久留米大学公開音楽コンサート(えーるピア久留米、2011.10.15)ほか、講座の記録。 写真、参加者からの手紙など多数。 ・(無題)2010年~2014年までの「私史」。「政治・社会」「文化」と並記した年譜形式。
MK2-42	118865	自筆資料	ノート<私史ノート> ※カバーあり	森崎和江		2	B5版ノート。布で手作りのカバー。ボールペン手書き。 <政治・社会><文化><私史>を並記した年表形式。ほか家系図、森崎庫次略歴。「思想の科学」1946年~1996年の著者索引。役職メモ。受賞・表彰メモ。
MK2-43	118866	自筆資料	ノート<ハンゲル学習ノート>	森崎和江	1966	5	A5版ノート2冊、B5版ノート3冊。万年筆、ボールペン手書き。 ノートが入っていた封筒に、「1966(昭41)九州大学農学部で韓国から初めての留学生趙誠之【チョンジンジ】氏(同世代)がみえた。九大文学部司書の豊原怜子さんと同氏にハンゲル文字の教えを乞い、九大へ通った。朝鮮語辞典も未出版当時。そのノート4冊在中」と書かれている。※実際は5冊入っていた。
MK2-44	118867	自筆資料	ノート<能登メモⅢ>	森崎和江	1983	1	B5版ノート3冊。万年筆手書き。 表紙:能登メモⅢ 58.2~3 折口信夫 折口と能登の関連についてのメモ。『能登早春紀行』(1983年(昭和58年)8月、花曜社)執筆のための取材か。
MK2-45	118868	自筆資料	ノート<講演メモ、講話メモ>	森崎和江		3	B5版ノート3冊。万年筆手書き。 '88年~'94年、'94年~'94年11月、'95年~'97年の講演または講話の記録とメモ。
MK2-46	118869	自筆資料	ノート<詩稿メモ>	森崎和江		5	B5版ノート5冊。ボールペン手書き。 ①詩稿メモNo1 '96.4-'97.8 「地球の祈り」深夜叢書社 '98.5.25刊に収録 ②詩稿メモNo2 '97.8-2001.末 ③詩稿メモNo3 2001.末-2005.5 ④詩稿メモNo4 2005-2009 ⑤詩稿メモNo5 2009-
MK2-47	118870	自筆資料	ノート<新聞スクラップノート>	森崎和江		2	A5版ノート:2011.6~2012.3のスクラップ。主に原発、震災関連。 B5版ノート:2015.9~10スクラップ。

森崎和江資料リスト

MK2-48	118875	自筆資料	ノート<無題(雑記)>	森崎和江		3	A5版ノート1冊、B5版ノート2冊。 A5版ノート: 福井県史、金関丈夫『十六島【ウップルイ】漫談』、敦賀志、『宮本常一著作集20 海の民』などについてのメモ。 B5版: 講演のためのメモ、読書メモなど。
MK2-49	118942	自筆資料	ノート<からゆきさんメモ>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆、鉛筆。『からゆきさん』(1983.2、朝日新聞出版)執筆時の調査メモか。
MK2-50	118943	自筆資料	ノート<蘭領印度問題「からゆきさん」メモ>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆。蘭領印度史、風俗・産物他、日本の南進状況、その他の項目に分けた年表。他、政治、民族運動などについてのメモ。
MK2-51	118944	自筆資料	ノート<筑紫美主子さん>	森崎和江		7	B5版ノート。万年筆。『悲しすぎて笑う—女座長筑紫美主子の半生』(1985.6、文藝春秋)執筆のための聞き書きメモ、調査メモ。筑紫美主子(本名・古賀梅子、1921-2013)は、佐賀弁を駆使した伝統芸能「佐賀にわか」の第一人者。
MK2-52	118945	自筆資料	ノート<県女性史 産む・育てる・暮らす>	森崎和江		2	B5版ノート。ボールペン。福岡県の女性史の年表形式メモ。No.1「M元—S12まで」、No.2「S13〜」。
MK2-53	118946	自筆資料	ノート<北海道 松前半島メモ>	森崎和江		2	B5版ノート。万年筆。昭和58年11月18日(金)~22日、函館、江差などへの旅の日記メモ。他、聞き書きや、松前藩、アイヌなどについての調査メモ。
MK2-54	118947	自筆資料	ノート<サハリン漁民関係>	森崎和江		4	B5版ノート。万年筆。表紙:①59.1~60.10、②③61.1~。④は年月記載なし。 『ナヨロの海へ 船乗り弥平物語』(1988.5、集英社)執筆にあたっての調査か。主に聞き書きのメモ、他樺太の歴史、風俗等のメモ。 ※同著は「樺太・ナヨロの海で、サケ・マス漁に命を賭けた男の波瀾に満ちた生涯をたどり、その“英雄”のかげにうずくまった女たちの語りつくせぬ心を写しとる」ノンフィクション。
MK2-55	118948	自筆資料	ノート<郡史・町史>	森崎和江		1	B5版ノート。万年筆。福岡県内の郡史、市史、町史をまとめたもの。 稲築【いなつき】町誌、穂波町誌、方城町史、大任町誌、田川市誌、遠賀郡誌、水巻町誌、金田町史、鞍手郡誌、飯塚市誌、嘉穂郡誌、粕屋郡誌、直方市誌、宗像郡誌、添田町誌。
MK2-56	118949	自筆資料	ノート<孤鹿メモ>	森崎和江		3	B5版ノート、3冊。万年筆。明治時代の民権家・岡田孤鹿【ころく】(1934-1906)についての調査メモ。 森崎は1988(昭和63)10月26日~孤鹿が開拓した北海道へ調査の旅におもむき、のち『荒野の郷—民権家岡田孤鹿と二人妻』(1992.5、朝日新聞社)を書いた。 ※孤鹿は幕末に柳河藩士(現・柳川市)の二男として生まれ、自由民権派の議員として活動したのち、1894年、北海道勇払郡厚真村に移住し岡田農場を拓いた。
MK2-57	118950	自筆資料	ノート<「日本の父」ノート>	森崎和江		2	B5版ノート、3冊。万年筆。①59.1~60.5取材、②60.5~61.6取材。『日本の父』(1986.11、潮出版社)執筆にあたっての取材ノート。
MK2-58	118951	自筆資料	ノート<「里の風おぼえ」北井一夫さんとの旅>	森崎和江		1	B5版ノート、2冊を1冊に綴じたもの。万年筆。①表紙: 一期一会の人びと 北井一夫さんと/55年4月~55年10月/なごみ連載「里の風おぼえ」。②表紙: 里の風おぼえ 北井一夫さんと/55年10月~56年4月。 雑誌「なごみ」に1980年7月~1981年6月まで連載した随筆執筆の取材メモ。のち『クレヨンを塗った地蔵』(1982.3、角川書店)として刊行。北井一夫は写真担当。
MK2-59	118952	自筆資料	ノート<福岡県女性史>	森崎和江		4	B5版ノート。万年筆。①近世~明治20/1887年、②明治21/1888年~45年/1912年、③大正1年/1912年~昭和10年/1935年、④昭和11年/1936~昭和35年/1960。すべて年表形式。
MK2-60	118953	自筆資料	ノート<県女性史関係 聞き取りノート>	森崎和江		2	B5版ノート。ボールペン。2冊とも、1990年~91年に採話をを行った際の聞き取りメモ。
MK2-61	118954	自筆資料	ノート<能登メモ>	森崎和江	1983	2	B5版ノート。万年筆。昭和58(1983)年2月~3月。同8月刊行の『能登早春紀行』(花曜社)取材ノートか。
MK2-62	118955	自筆資料	ノート<湯かげんいかが>	森崎和江	1982	1	B5版ノート。万年筆。昭和57(1982)年12月刊行の『湯かげんいかが』(東京書籍)取材ノート。球磨郡五木村、指宿、牧園町、上五島、箱崎などを訪れ、各地の風呂の文化について聞き書きを行ったもの。同年、福岡県粕屋郡篠栗町の巡礼道を歩き、RKBテレビルポルタージュ「湯かげんいかが」が放送される(自選年譜より)。
MK2-63	118956	自筆資料	ノート<風呂メモ>	森崎和江	1982	2	B5版ノート。万年筆。昭和57(1982)年、RKBテレビルポルタージュ「湯かげんいかが」のための取材、調査ノートか。日本の風呂文化についてまとめたもの、また、取材の折の聞き書きメモなど。
MK2-64	118957	自筆資料	ノート<白秋メモ>	森崎和江		2	B5版ノート。万年筆。北原白秋についての調査メモ。 白秋については、のち『トンカ・ジョンの旅立ち—北原白秋の少年時代』(1988.11、日本放送出版協会)刊行。
MK2-65	118958	自筆資料	ノート<いのちの木の方へ>	森崎和江	1993/11~1994/06	1	B5版ノート。万年筆。1993年、NHKラジオドラマ「いのちの木の方へ」取材旅行の折の調査ノート。秋田県、長野県その他を歩く。放送日は1994年3月19日。
MK2-66	118959	自筆資料	ノート<若狭 北海道 印度>	森崎和江	1977~1979	1	B5版ノート3冊を1冊に綴じたもの。万年筆、鉛筆。 ①若狭・能登: 昭和54年5月14日~20日の取材旅行メモ。 ②北海道・沖縄・東北: 1977年~78年の取材旅行メモ。北海道(1977年1月28日~2月7日?)、沖縄(1977年4月28日~5月2日)。※5月3日~5月7日までは切り取りし、ノート<2003年沖縄ノート>へ移動されたため確認要●)、東北(1978年●11月2日~8日?)。 ③インド旅行: 1977年12月6日~15日の取材旅行メモ。インドの仏蹟めぐりを松崎武俊達と行った。
MK2-67	118960	自筆資料	ノート<宗像>	森崎和江		1	B5版ノート3冊を1冊に綴じたもの。万年筆、鉛筆。「宗像①」「旅そして宗像②」「雑・メモ 宗像③」の3冊。

森崎和江資料リスト

MK2-68	118961	自筆資料	ノート<雑 祭り>	森崎和江	1975		4	B5版ノート。万年筆、ボールペン。全国各地の祭りの取材ノート。テキヤの人々へ取材し、口上なども書き留められている。※1975年、「秋の筥崎宮放生会(福岡市)で、露店商を営む歌人の宮崎(藤の間)違い)碎花と出会う。これを機に大阪の少彦名神社の神農祭、北海道根室市金比羅宮の山上行列など、各地の祭りを訪ねる」(自選年譜より)。RKBの木村栄文と取材を続けテレビドキュメント「祭りばやし」が聞こえる」が制作された。
MK2-69	118962	自筆資料	ノート<聞き書きノート>	森崎和江			3	B5版ノート。万年筆。①1972年～1982年採話。炭坑夫、坑内婦、佐渡金山坑夫、遊郭のおかみなどへの聞き書き。②1972年～1986年採話。遊郭の女将、津軽からの出稼ぎ労働者、ノコ専門職人、鉄道員、北洋漁業、坑内婦などへ聞き書き。③1987年採話。花火師(株式会社唐津煙火)への聞き書き。のち単行本『きのうから明日へ 庶民聞き書き』(1992.2、葦書房)に抜粋。
MK2-70	118963	自筆資料	ノート<木綿>	森崎和江			1	B5版ノート。万年筆。明石染人『染色文様史の研究』(昭和6)、守田公夫『日本の染色』(昭和31)など、布や染色の文化史についての参考文献を抜き書きしまとめたメモ。
MK2-71	118964	自筆資料	ノート<東北メモ>	森崎和江			2	B5版ノート。万年筆、ボールペン。①94.6～95.6、③かくれキリシタン内外／鉱山足跡。※②なし(不明)。
MK2-72	118965	自筆資料	ノート<語りべの海>	森崎和江			6	B5版ノート。ボールペン、万年筆、鉛筆。『語りべの海』(2006.1、岩波書店)執筆のための取材ノート。
MK2-73	118966	自筆資料	ノート<鐘崎の海女>	森崎和江			1	B5版ノート。ボールペン、万年筆。本田力江さんへの聞き書き。
MK2-74	119007	自筆資料	ノート<慶州メモ(1982)>	森崎和江	1982		1	B5版ノート。万年筆。『慶州は母の呼び声』(1984.3 新潮社)執筆のためのメモか。
MK2-75	119008	自筆資料	ノート<大邱メモ(1982)>	森崎和江	1982/11		1	B5版ノート。万年筆。『慶州は母の呼び声』(1984.3 新潮社)執筆のためのメモか。「57.11.6 緒方文子(山口文子)さんに会う」の頁には、当時住んでいた周辺(大邱か?)の手描き地図もあり。
MK2-76	119009	自筆資料	ノート<訪韓メモ 2>	森崎和江	1985/02～03		1	B5版ノート。万年筆。表紙に、「'85.2.26～3.15」。
MK2-77	119010	自筆資料	ノート<訪韓ノート 3>	森崎和江	1985/02～03		1	B5版ノート。万年筆。表紙に、「'85.2.26～3.15」/「こだまひびく山河の中へ」資料。訪韓時の聞き書きメモなどあり。
MK2-78	119011	自筆資料	ノート<訪韓ノート 4>	森崎和江	1985/02～03		1	B5版ノート。万年筆。表紙に、「'85.2.26～3.15」。韓国教育史のメモなど。
MK2-79	119012	自筆資料	ノート<愛光園メモ ①>	森崎和江	1992～1995		1	B5版ノート。万年筆。表紙に「92.7～95.7」。 ・'92.7.1～13。一人で訪問。安東・慶州へ任順さんと旅。 ・'92.10.4～7 RKBテレビと共に。(RKBルポルターージュ「湯かげんいかが」取材) ・'95.6.30～7.10 金任順さん来日。野口●さんと訪韓／カンヌン市などへ案内受ける ・'95.7.3～7.10 雪嶽山国立公園 ※雪岳山【ソラクサン】:韓国の北東部 江原道にある山並の総称
MK2-80	119013	自筆資料	ノート<愛光園メモ ②>	森崎和江	1995		1	B5版ノート。万年筆、ボールペン。表紙に「95.7～95.9 聞き取り記録」。ノート<愛光園メモ①>の続き。愛光園についての金任順さんへの取材メモなど。
MK2-81	119014	自筆資料	ノート<金任順さんとの交流メモ ③>	森崎和江	1998/11		1	B5版ノート。万年筆、ボールペン。表紙に「'98.11月 藤原良雄氏と『愛することは待つことよ』取材」。慶州中高校関連のメモ。『愛することは待つことよ』(1999.10 藤原書店)執筆のための取材。藤原書店の藤原良雄氏と。「巨済島愛光園」の日本語版パンフレットあり。
MK2-82	119015	自筆資料	ノート<金任順さんとの交流メモ ④>	森崎和江	1998-1999		1	B5版ノート。万年筆、ボールペン。表紙に「'98.11取材／'99～(宗像市民との交流も)～2000末まで」。 ・宋昇奎氏への聞き取り ・'99.10.16～19 金任順さんら愛光園関係者が宗像へ。10/17の宗像市主催「いきいきフェスタ」で愛光園の子どもたちの作品のバザー一店出店準備など。 ・'99.11.25～28 巨済島ほか訪問。 ・2000.4.18 第一回愛光園生修学旅行。
MK2-83	119016	自筆資料	ノート<金任順さんとの交流メモ ⑤>	森崎和江	2001		1	B5版ノート。万年筆、ボールペン。表紙に「2001.1～2001.12」。 ・愛光園修学旅行の打合せメモ ・9.17～22 蔡京希さん、金任順さん訪問。 ・10.9～10.12 韓国陶芸の旅。 ・11.10～12 金任順さんと愛光園関係者来日。 ほか。
MK3-01	119101	印刷物	資料「潮といのちの物語」	森崎和江	1987		1	式 JNN九州6局ネット「窓をあけて九州・二十周年記念企画」として放送された番組の自筆原稿、資料一式。同封原稿はMK1-18として別途登録。RKB木村栄文からの郵送か。RKBでの放送は昭和62年11月15日(封筒手書きの情報)。資料は、番組企画書コピー、企画会議出席者名簿(予定)と企画会議資料、福岡中央魚市場の開休市一覧表(昭和62年度)。
MK3-02	119102	印刷物	台本「後山先山」(九州歴史散歩 第34回)	森崎和江	1965/01/30	NHK福岡	1	NHK福岡TV台本。放送日:昭和40年1月30日(土)13:00～13:15、総合管中(※)。出演:九州大学助教授・徳本正彦、作家・森崎和江。聞き手:岩崎アナウンサー。 ※管中=ブロック(管区)中継番組のこと。
MK3-03	119103	印刷物	台本「お父さんのお歳暮」(九州まわり舞台)	森崎和江	1967/12/16	NHK●	1	NHKテレビ台本か。放送日:昭和42年12月16日 12:20～12:45。作・森崎和江。
MK3-04	119104	印刷物	台本「生きている海」(九州劇場)	森崎和江	1971/09/24	NHK福岡放送局	1	NHK福岡放送局台本。放送日:昭和46年9月24日(金)午後9時30分～10時、第一管中。 作:森崎和江、音楽:今史朗

森崎和江資料リスト

MK3-05	119105	自筆資料	資料・ノート「草の上の舞踏」	森崎和江	1978		1	式	昭和53年、RKB放送。取材ノート、コピー「名刹 内尾薬師 京都郡苅田町」(昭和四十年春彼岸、明道法印)、撮影写真4枚、新聞記事「新風土記 田川郡香春町」(昭和53年6月14日、西日本新聞夕刊)A3コピー3枚。
MK3-06	119106	印刷物	台本(フィルム構成)「祭りばやしが聞こえる」	森崎和江	1975/11/22	RKB毎日放送	1		昭和50年度芸術祭テレビドキュメンタリー部門参加作品。昭和50年11月22日(土)午後3時～4時35分、RKB毎日で放送。番組企画書同封。 作:森崎和江、ディレクター:木村栄文、制作:RKB毎日放送。
MK3-07	119107	印刷物	台本「女性手帳 私の出会った女たち(1)～(3)」(合冊)	森崎和江	1978/12	NHK福岡	1		NHK福岡TV制作。標題番組第一回～第三回の合冊台本。GTV全中(※)。出演:作家・森崎和江。司会:平岩毅アナウンサー、石井妙子(消費経済新聞社)。※全中=全国中継番組のこと。 第一回「炭坑のかあちゃん」…放送日:昭和53年12月11日(月)14:00～14:29 第二回「ふるさとのオモニ」…放送日:昭和53年12月12日(火)14:00～14:29 第三回「さすらいのおなご」…放送日:昭和53年12月13日(水)14:00～14:29
MK3-08	119108	印刷物	台本「女たちのうた 筑豊の坑内唄」(NHK文化シリーズ:生活の中の日本史)	森崎和江	1978/07/21	NHK福岡局 制作課教育班	1		NHK福岡局 TV台本。放送日:昭和53年7月21日、20:00～20:45、教育TV。出演:松永伍一、森崎和江。聞き手:石井妙子。
MK3-09	119109	印刷物	台本「日本からみた隣の国 私の思い出と期待 森崎和江」		1983/12/27	NHK	1		NHK ラジオ台本か。放送日:昭和58年12月27日、14'00' NHK国際放送。 台本は原稿用紙に書かれたもののコピー。執筆者は相田●●。原稿用紙に書かれた手紙2枚同封。
MK3-10	119110	印刷物	台本(コピー)「新しい人よ眼ざめよ」	森崎和江	1986/05	日本放送作家組合	1		『テレビドラマ代表作選集 1986年版』(日本放送作家組合 編)収録の該当ページコピー。 原作:大江健三郎、脚本:森崎和江。制作:日本放送協会、放送:昭和60年1月15日。
MK3-11	119111	印刷物	台本「対馬暖流 海女幻想」	森崎和江	1988	NHK福岡放送局	1		原作:森崎和江「海路残照」。制作:NHK福岡放送局、放送年:昭和63年。
MK3-12	119112	印刷物	台本「海辺の女たち」(九州劇場)	森崎和江	1994/09/25	NHK福岡	2		NHK福岡 ラジオ台本。原作:森崎和江「きのうから明日へ」庶民間書きき 一章「初手の女」～鐘崎の海女～』。放送:平成6年9月25日(日)22:15～22:45、ラジオ第一。
MK3-13	119113	印刷物	台本(コピー)「旅は道づれ」	森崎和江	1976/11/14	NHK	1		NHKラジオ台本、昭和51年11月14日放送。昭和51年度文化庁芸術祭優秀賞受賞作品。 『海鳴り』(1981.10、三書房)の該当ページのコピーか。
MK3-14	119114	印刷物	資料「木に会いたい」(NHK ETV特集)	森崎和江	1997		1		NHK ETV特集、1997年11月25日放送。 取材メモのノート1冊、取材時に訪問した根子小学校(秋田県阿仁町)児童、先生からの手紙、ETV特集を見た視聴者からの手紙、「牧野紋吉・四子吉顕彰会」からの手紙など一式。
MK3-15	119117	自筆資料	資料、ノート「テレビビデオ・ラジオ脚色、脚本など」木村栄文メモ	森崎和江	2011		1		ノート1冊に資料がはさまっているもの。 ノート前半は、手がけたテレビ、ラジオ番組についてまとめたメモ。 後半は、木村栄文と一緒に制作した番組メモ、栄文略歴など。 資料は、校正コピー「追悼 木村栄文『いつも一緒に歩いてくれた』(「GALAC」2011.8)、木村栄文逝去(2011年3月22日、76歳)に伴う新聞記事切り抜き多数、「木村栄文 送る会」(RKB毎日放送主催、2011年4月25日)のお礼状など。
MK3-16	119118	一般雑誌	「HBF」第59号(木村栄文関連資料)		1998/07	放送文化基金報	1		「月白の道」に見る木村栄文の世界—戦争と、そして戦後を生き抜いた詩人・丸山豊」掲載。 森崎宛手紙1通挟み込みあり。
MK3-17	119119	一般雑誌	「公開講座 木村栄文レトロスペクティブ」(木村栄文関連資料)	森崎和江	2012/02/11	RKB毎日放送+東風	1	式	2冊あり。RKB毎日放送主催の公開講座パンフレット。森崎和江「栄文さん有難う」掲載。
MK3-18	119120	図書	書籍『テレビは眠れない』他(木村栄文関連資料)	木村栄文	2011/04/25	RKB毎日放送「木村栄文 送る会」実行委員会編	1	式	書籍に木村栄文から森崎宛書簡2通(昭和58年10月28日消印●、平成4年12月8日消印)、年賀はがき2通(昭和55年、平成11年)、写真1枚(送る会か)挟み込みあり。
MK3-19	119121	印刷物	報告書「テレビドキュメンタリスト木村栄文の軌跡」(木村栄文関連資料)		2013/12/01	西南学院大学&RKB毎日放送 共同「木村栄文研究」	1		正式タイトルは「TVドキュメンタリスト木村栄文の軌跡—映像が描く「地方」と「社会」—【2012年度～中間報告書】/西南学院大学&RKB毎日放送 共同「木村栄文研究」。編集:田村元彦(研究代表、西南学院大学法学部)。(公財)放送文化基金助成。 森崎和江インタビュー掲載(2012.7.26、インタビューア:茶園梨加ほか)。
MK3-20	119122	印刷物	台本「まっくら」(空中劇場)	森崎和江	1961	JOKR 東京放送	1		JOKR東京放送、ラジオ台本。放送年:1961(昭和36)年。
MK3-21	119123	印刷物	台本「くらやみ恋し く女坑夫からの聞き書き >より」(郷土劇場)	森崎和江	1964/05/30	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・全中、ラジオ台本。放送年:1964(昭和39)年5月30日(土)。午後4時05分～4時30分。
MK3-22	119124	印刷物	台本「こもりうた」(九州劇場)	森崎和江	1964/10/29	NHK福岡	1		NHK福岡、ラジオ台本。放送年:1964(昭和39)年10月29日(木)。午後10時20分～。
MK3-23	119125	印刷物	台本「ふるさとの湯」(九州劇場)	森崎和江	1965/12/11	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・管中、ラジオ台本。放送年:1965(昭和40)年12月11日 23時05分～23時25分。
MK3-24	119126	印刷物	台本「島の音」(九州劇場)	森崎和江	1965/09/25	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・管中、ラジオ台本。放送年:1965(昭和40)年9月25日 午後11時05分～11時25分。 ※タイトル「鮫岩」で印刷、手書きで「島の音」と修正されている。
MK3-25	119127	印刷物	台本「スクラップと墓」(九州劇場)	森崎和江	1965/01/28	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・管中、ラジオ台本。放送年:1965(昭和40)年1月28日(木)、午後10時15分～。
MK3-26	119128	印刷物	台本「歌よ生まれよ」	森崎和江	1965/10/24	NHK福岡	1		NHK福岡、ラジオ台本。昭和40年度芸術祭参加候補作。放送年:1965(昭和40)年10月24日。
MK3-27	119129	印刷物	台本「沖縄の星」(芸術劇場)	森崎和江	1966/06/26	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・全中、ラジオ台本。放送年:1966(昭和41)年6月26日(日)、午後10時15分～11時。 協力・ラジオ沖縄。
MK3-28	119130	印刷物	台本「天草の海に」(家庭劇場)	森崎和江	1966/10/08	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・全中、ラジオ台本。放送年:1966(昭和41)年10月8日(日)、午後5時15分～5時35分。 校正の書き込み多数あり。
MK3-29	119137	印刷物	台本「夏草の丘の上に」(九州まわり舞台)	森崎和江	1966/09/10	NHK福岡	1		NHK福岡、ラジオ台本。放送年:1966(昭和41)年9月10日(土)、午後0時20分～0時45分。
MK3-30	119131	印刷物	台本「つげの櫛」(九州劇場)	森崎和江	1966/10/22	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・管中、ラジオ台本。放送年:1966(昭和41)年10月22日(土)、23時05分～23時25分。
MK3-31	119132	印刷物	台本「枕崎の女房たち」(郷土劇場)	森崎和江	1967/06/03	NHK福岡	1		NHK福岡/第一・全中、ラジオ台本。放送年:1967(昭和42)年6月3日(土)、5時15分～5時35分。

森崎和江資料リスト

MK3-32	119133	印刷物	台本「時差出勤」(九州劇場)	森崎和江	1967/02/11	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1967(昭和42)年2月11日(土)、23時05分～23時25分。
MK3-33	119134	印刷物	台本「ごっつんと節」(九州劇場)	森崎和江	1967/11/25	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1967(昭和42)年11月25日(土)、23時05分～23時25分。
MK3-34	119135	印刷物	台本「遠賀川」(九州劇場)	森崎和江	1967/3/11	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1967(昭和42)年3月11日(土)、23時05分～23時25分。
MK3-35	119136	印刷物	台本「しいたけと若者たち」(郷土劇場)	森崎和江	1967/10/14	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・全中、ラジオ台本。放送年：1967(昭和42)年10月14日(土)、午後5時15分～5時35分。
MK3-36	119138	印刷物	台本「年貢米」(九州劇場)	森崎和江	1967/06/24	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1967(昭和42)年6月24日(土)、23時05分～23時25分。
MK3-37	119139	印刷物	台本「誰れか…消えて…いる」(九州劇場)	森崎和江	1968/07/12	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1968(昭和43)年7月12日(金)、午後10時30分～10時58分。
MK3-38	119140	印刷物	台本「大河の流れ」(九州劇場)	森崎和江	1968/03/09	NHK福岡	2		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1968(昭和43)年3月9日(土)、午後11時05分～11時25分。 2冊あり。うち1冊は校正用として利用、書き込み多数。加筆訂正され、詩劇として『森崎和江詩集』(1984.8、土曜美術社)に収録。
MK3-39	119141	印刷物	台本「ごったん狂奏曲」改訂稿(芸術劇場)	森崎和江	1968	NHK福岡	1		NHK福岡、ラジオ台本。昭和43年度芸術祭参加候補。 校正の書き込みあり。
MK3-40	119142	印刷物	台本「豊前津野谷セツ石」(郷土劇場)	森崎和江	1968/09/14	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・全中、ラジオ台本。放送年：1968年9月14日(土)午後5時15分～5時35分。
MK3-41	119143	印刷物	台本「愛と私」(九州劇場)	森崎和江	1969/09/12	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1969年9月12日(金)10時30分～10時58分。
MK3-42	119144	印刷物	台本「ここは篠栗七曲り」(郷土劇場)	森崎和江	1969/02/01	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1969年2月1日(土)午後5時15分～5時35分。 校正の書き込みあり。
MK3-43	119145	印刷物	台本「猿田峠の風太郎」(連続ラジオ小説)	森崎和江	1969/01～02	NHK福岡	8		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1969年1月7日(火)～2月25日(火)の毎週火曜日、午後0時35分～0時58分。全八回。
MK3-44	119146	印刷物	台本「遠去かる母」(九州劇場)	森崎和江	1969/02/28	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1969年2月28日(金)、午後10時30分～10時58分。
MK3-45	119147	印刷物	台本「陽炎」(九州劇場)	森崎和江	1969/06/13	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1969年6月13日(金)、午後10時30分～10時58分。
MK3-46	119148	印刷物	台本「豚を飼う娘」(九州劇場)	森崎和江	1969/12/12	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1969年12月12日(金)、午後10時30分～10時58分。
MK3-47	119149	印刷物	台本「五平太舟」(郷土劇場)	森崎和江	1969/05/31	NHK福岡	1		NHK福岡／第一・全中、ラジオ台本。放送年：1969年5月31日(土)、午後5時05分～5時25分。
MK3-48	119150	印刷物	台本「神のふるさと」(芸術劇場)	森崎和江	1970/12/19	NHK福岡	1		NHK福岡／FM・全中、ラジオ台本。放送年：1970年12月19日(土)、午後10時15分～11時00分。
MK3-49	119157	印刷物	台本「帆柱山の青春」(連続ラジオ小説)	森崎和江	1970/01～02	NHK福岡	6		NHK福岡／第一・管中、ラジオ台本。放送年：1970年1月6日(火)毎週火曜日、午後0時34分～0時58分。全八回(●)のうち第六話、第八話の台本抜け、全6冊。
MK3-50	119158	印刷物	台本「棄てられた民の墓標」(ラジオドキュメンタリー)	森崎和江	1970	九州朝日放送	1		九州朝日放送、ラジオ台本。昭和45年度芸術祭参加作品。
MK3-51	119159	印刷物	台本「モデラート・カンタービレ」(文芸劇場)	森崎和江	1971/01/24	NHK東京	1		NHK東京、ラジオ台本。M・デュラス 原作、田中倫郎 訳、森崎和江 脚色。 放送日：昭和46年1月24日(日)午後10時15分～11時。再放送：同年1月31日(日)午後6時05分～6時55分。
MK3-52	119160	印刷物	台本「オーレリアン」(文芸劇場)	森崎和江	1972/01/15	NHK東京	1		NHK東京、ラジオ台本。ルイ・アラゴン 原作、生島遼一 訳、森崎和江 脚色。 放送日：昭和47年1月15日(土)午後9時05分～10時。
MK3-53	119161	印刷物	台本「悲の器」(文芸劇場)	森崎和江	1972/10/21	NHK東京	1		NHK東京、ラジオ台本。高橋和己 原作、森崎和江 脚色。 放送日：昭和47年10月21日 午後9時05分～10時。再放送(予定)：同年10月22日 午後5時05分～6時。
MK3-54	119162	印刷物	台本「誰も知らない海峡」(芸術劇場)	森崎和江	1972/05/26	NHK福岡	2		NHK福岡、FM・全中、ラジオ台本。改訂稿、校正の書き込み多数あり。 放送日：昭和47年5月26日(金)午後10時15分～11時。
MK3-55	119163	印刷物	台本「ラ・ムジカ」※海外演劇シリーズその2(文芸劇場)	森崎和江	1973/05/12	NHK東京	2		NHK東京、ラジオ台本。2部あり。校正書き込みあり。M・デュラス 原作、安堂信也 訳、森崎和江 脚本。 放送日：昭和48年5月12日(土)午後9時05分～10時。
MK3-56	119164	印刷物	台本「消えていく日のために」(ドラマ)	森崎和江	1974/05/17	NHK東京	1		NHK東京、ラジオ台本。校正書き込みあり。 放送日：昭和49年5月17日(金)午後10時20分～11時。
MK3-57	119165	印刷物	台本「それを『いのち』と人のいう…」(海外ラジオドラマ特集 第三夜)	森崎和江	1976/03/20	NHK東京	2		NHK東京、ラジオ台本。校正書き込みあり。プー・カルペラン 原作、森崎和江 脚色。 放送日：昭和51年3月20日(土)午後9時05分～10時。
MK3-58	119166	印刷物	台本「旅は道づれ」(ドラマ)	森崎和江	1976/11/14	NHK東京	2		NHK東京、ラジオ台本。昭和51年文化庁芸術祭参加・ラジオ部門ラジオドラマの部。2部あり(1部はガリ版、もう1部はワープロ打ち)。 放送日：昭和51年11月14日(日)、22時20分～23時05分。
MK3-59	119167	印刷物	台本「晩春」※ドラマで綴る昭和・映画シリーズ3(文芸劇場)	森崎和江	1977/11/18	NHK東京	1		NHK東京、ラジオ台本。小津安二郎・野田高梧 原作、森崎和江 脚色。 放送日：昭和52年11月18日(金)、21時05分～21時58分。
MK3-60	119168	印刷物	台本「産小屋幻想」(ラジオ劇場)	森崎和江	1980/04/12	NHK東京	3		NHK東京、FM・全中。ラジオ台本。タイトル部分修正あり、手書きで「改題 産湯の里」。 放送日：昭和55年4月12日(土)、21時15分～22時00分。
MK3-61	119169	印刷物	台本「旅はふるさと—筑紫美主子半生記—」	森崎和江	1982/05/01	NHK東京	1		NHK東京、FM・全中。ラジオ台本。タイトル部分手書き修正あり、原題は「旅はふるさと・ニワカの舞—筑紫美主子半生記—」。手書きの校正書き込みあり。 放送日：昭和57年5月1日(土)、21時05分～22時20分。
MK3-62	119170	印刷物	台本「アフリカの花～『獅子よ羹を食め』より～」(ラジオ劇場)	森崎和江	1983/04/23	NHK東京	1		NHK東京、ラジオ台本。エリーズ・サザランド 原作、藤本和子 訳、森崎和江 脚本。手書きの校正書き込みあり。 放送日：昭和58年4月23日(土)、21時10分～21時55分。

森崎和江資料リスト

MK3-63	119171	印刷物	台本「新しい人よ眼ざめよ」(ステレオ・ドラマ 成人の日特集)	森崎和江	1985/01/15	NHK東京	1	NHK東京、ラジオ台本。大江健三郎 原作、森崎和江 脚本。2冊。手書きの校正書き込みあり。 放送日:昭和60年1月15日(火)、19時20分~21時15分。 昭和60年度(第一回)文化庁芸術作品賞受賞。昭和61(1986)年3月11日「朝日新聞」、受賞決定の記事切り抜き挟み込みあり。写真1枚挟み込みあり(収録の様子か?)。
MK3-64	119175	印刷物	台本「原生林に降る雨」(FMシアター・現代小説シリーズ第一夜)	森崎和江	1986/04/12	NHK東京	2	NHKFM、ラジオ台本。開高健「耳の物語」原作、森崎和江 脚本。2冊。手書きの校正書き込みあり。 放送日:昭和61年4月12日(土)、午後10時~11時。
MK3-65	119176	印刷物	台本「森のフシギの物語」(FMシアター・PCM サラウンド)	森崎和江	1988/01/16	NHK東京	1	NHK東京、ラジオ台本。大江健三郎「M/Tと森のフシギの物語」原作、森崎和江 脚色。手書きの校正書き込みあり。 放送日:昭和63年2月16日(土)、午後10時~11時。
MK3-66	119177	印刷物	台本「サハリン・シンフォニー」第一部 青春と海」(特集・民族の歌と森の物語②)	森崎和江	1991/08/11	NHK東京	2	NHK東京FM、ラジオ台本。 放送日:1991(平成3)年8月11日(日)、23時10分~24時00分。
MK3-67	119178	印刷物	台本「サハリン・シンフォニー」第二部 海山の祭り」(特集・民族の歌と森の物語②)	森崎和江	1991/08/12	NHK東京	2	NHK東京FM、ラジオ台本。 放送日:1991(平成3)年8月12日(月)、23時10分~24時00分。
MK3-68	119179	印刷物	台本「木に会いたい」(ラジオドラマ)	森崎和江	1992/12/31	KBC九州朝日放送	1	九州朝日放送、ラジオ台本。原作 幸田文、脚本 森崎和江。 放送日:1992(平成4)年12月31日(木)、午後8時~9時。 台本の送付状(手書き)一枚、挟み込みあり。
MK3-69	119180	印刷物	台本「地球の祈り」(FMシアター)	森崎和江	1996/08/●	NHK東京	2	NHK東京FM、ラジオ台本。タイトル部分に手書き修正(原題「祈り」)。手書きの校正書き込みあり。 放送日:1996(平成8)年8月●日 22時~。
MK3-70	119181	印刷物	台本「これで、おしまい」(FMシアター・海外文学シリーズ②)	森崎和江	1996/12/21	NHK東京	3	NHK東京FM、ラジオ台本。2部あり。原作 マルグリット・デュラス、訳 田中倫郎、脚本 森崎和江。 放送日:1996(平成8)年12月21日(土) 22時~。
MK3-71	119297	印刷物	台本コピー「湯かげんいかが」(RKB)	森崎和江	1983/02/05	RKB毎日放送	1	RKB毎日放送、TV台本、44枚。1983年2月5日放送。プロデューサー・木村栄文、約58分。 同封物:「朝鮮貢使の沐浴観」について、木村が研究者の長正統に問い合わせた返答のコピー。「放送文化」(1978.6)1冊【木村栄文「なぜヒューマン・ドキュメントなのか」掲載】。 ※アクス袋⑥
MK3-72	119298	印刷物	台本コピー「笑いと涙の40年—旅役者 筑紫美主子」(NHK)	森崎和江	1982/01/07	NHK	1	NHK、TV台本、4枚。1982年1月7日放送。NHK総合テレビで放送されていたドキュメンタリー番組「ルポルタージュにつぼん」(29分枠)の番組として。 ※アクス袋⑥